

3. 神林地域

農と星

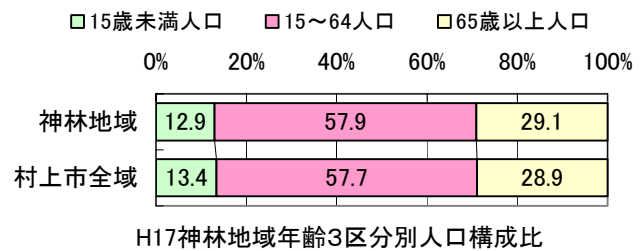
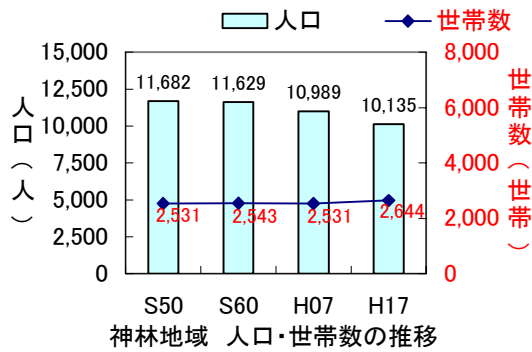


【神林地域の位置】



【地域の現状】

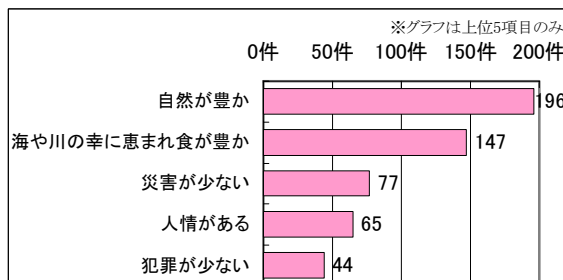
- ・村上市 部、旧神林村の区域
- ・山林地が約 68%、農地が約 27%、宅地が約 3%
- ・人口は減少傾向、世帯数は ばい状態で推移
- ・65 歳以上高齢者比率は 29.1%で市平均並み



【アンケート結果】

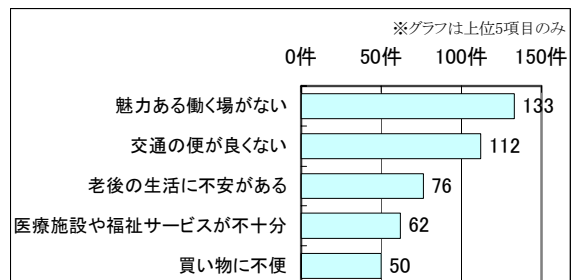
・村上市が住みやすいと感じる理由

3. 神林地域



・村上市が住みにくいと感ずる理由

3. 神林地域



神林地域の課題

【地域に分布する固有の資源の一層の磨き上げと連携】

歴史文化的価値の保全と地域振興への活用

お幕場、大池の白鳥、旧農家住宅、平林城跡、南大平の天体観測施設など、
点在する資源を連携させた活用

NPO・地域づくり団体の一層の活性化と市民・行政との効果的な連携促進

【農業・農村活性化と自然環境の保全活用】

米・ネギ・大豆生産など、基幹産業である農業と農村の継続的な維持保全

ふるさとの景観である農村集落と田園風景・山地風景の調和

要害山・荒川・田園・白砂青松などの自然環境の保全活用

【集落の安全性・快適性の確保】

河川氾濫などの水害対策、災害時の安全性確保

草刈りやまつり行事の継続など集落単位でのコミュニティ活動の維持支援

高齢者が容易に都市的サービスを楽しむための公共交通の整備

神林地域の将来目標

「農」と「星」の文化

神林の基幹産業である「農業」と「星」がきれいに映える豊かな自然環境を大切に保全し、今後とも魅力ある地域づくりに活用していきます。

1 歴史文化資源を活かしたまち

北前船の寄港地で、今も港町のまちなみが残る塩谷集落をはじめ、お幕場、平林城跡、旧農家住宅など、地域固有の歴史文化的資源を保全し、さらに磨き上げ魅力を高めるとともに、貴重な交流資源として相互の連携を図り、活気ある地域を目指します。

2 豊かな自然に育まれた農作物と美しい星空のまち

要害山・大平山の山並み、白砂青松の海岸に囲まれて育つ岩船産コシヒカリややわ肌ネギなどの生産地として、安全で良質な食の供給機能を守るとともに、澄んだ空気と緑の中で、星空が美しい環境のまちを目指します。

3 高齢者も安心して暮らせるまち

既存集落における身近な道路や下水道水洗化など生活基盤の改善や高齢者にも使いやすい公共交通の構築、地域コミュニティによる防災活動などにより、便利で安心して暮らせる地域を目指します。

神林地域の整備方針

1 「歴史文化資源を活かしたまち」の方針

【塩谷集落の魅力向上】

新潟県の景観モデル地区支援事業地区に指定される塩谷地区は、北前船の寄港地としての歴史的景観を保全・創出し、住民主体で構想策定や景観ルールづくりなど、魅力の高いまちなみとして多様な交流の展開を図ります。

「塩谷の町屋散策」などのイベントを交流資源として支援するとともに、多くの来訪者が訪れるにぎわいある空間としての整備を図ります。塩谷集落とお幕場森林公園、岩船港、瀬波温泉などとの連携により観光地としての一層の魅力向上を目指します。



【観光・交流施設の連携】

日本の白砂青松 100 選に選定された「お幕場大池公園」や「平名城跡」、天体観測施設、「南大平ダム湖公園」など、地域の観光資源の一層の魅力向上とこれら資源相互を効果的につなげ、交流人口拡大を目指します。神林総合運動公園は、市内他地域の運動公園との連携のもと、村上市民をはじめ市外からの利用者も受け入れる広域的なスポーツ拠点として、既存の空き施設を有効に活用しながら、合宿にも対応できる宿泊機能の整備など、さらなる利便増進を目指します。



国道 290 号や 345 号は、地域外からの来訪者が多く利用する観光道路として、隣接する関川村や胎内市との関係も考慮しながら、周囲の景観と調和した案内板や沿道の緑化など、魅力ある環境整備を目指します。

集落整備にあたっては、例えば「星空に続くまち、南大平」などのキャッチフレーズを掲げ、そのイメージに沿った環境づくりを進めるなど、個性を活かした整備手法の検討を目指します。

道の駅「神林」の休憩、物産販売、情報発信などの機能強化とともに、パーク＆ライドとしての機能も視野に入れた整備を目指します。

2 「豊かな自然に育まれた農作物と美しい星空のまち」の方針

【農地の保全】

農地については、安全で良質な米や野菜の供給基地として、またうるおいある景観形成地として、その機能維持を図ります。

【自然環境の保全】

地域東部に広がる山林地は、土砂災害の防止や水害の防止、水源涵養、CO₂の吸収、神木のふるさとの景観形成、保健休養など、重要な公益機能を確保するため、開発は抑制し、維持保全を図ります。

大気環境や夜間景観を悪化させるおそれのある施設の立地を防止するとともに、山や平地部での緑を保全し、美しい星空を見ることができ環境の維持を目指します。



【海岸の保全】

海岸部については、浸食対策の実施など、美しい白砂青松の景観の保全を図ります。

【農産品の活用と雇用の場づくり】

主要な観光拠点などに「コシヒカリ」や「やわ肌ネギ」など地域の特産品をPR・販売できる機能整備など、都市と農業が互いに発展できる方策づくりを目指します。また、地域住民の手で地場産の加工品を製造し、販売する環境づくりを目指します。

神林工業団地へは、周辺環境の悪化のおそれのない企業の誘致を促進し、地域の雇用の場の確保を目指します。



3 「高齢者も安心して暮らせるまち」の方針

【基幹集落の整備】

JR岩船町駅周辺は、行政・郵便・小学校・運動公園などの公共公益施設のほか飲食店や業務施設も立地する地域の中心であることから、歩行者空間の整備と駅を中心とした交通乗継ぎ機能の改善を目指します。

【集落機能の維持】

既存集落の生活道路については、安全性や防災などの観点から、地域の要望に応じて整備改善を目指すとともに、集落内に残る歴史的建造物などの保全と活用を目指します。

既存集落は閑静でゆとりある居住環境の保全を前提としますが、田園居住ニーズに対応した優良な住宅や環境悪化のない生活利便施設の機能整備など、集落人口の減少抑制や生活環境の向上を目指します。

まつり行事や集落で行う協働作業が効率的に継続され、地域環境が維持されるような仕組みづくりを目指します。

集落の公園や集会場など使われていない施設の利用も視野に入れながら、高齢者から子どもまで多様な世代同士が交流できる場の整備を目指します。

集落部に住む交通手段を持たない住民が、容易に市街地の都市サービスを楽しめるよう、新たな公共交通の仕組みなどを検討し、地域の移動手段の確保を図ります。

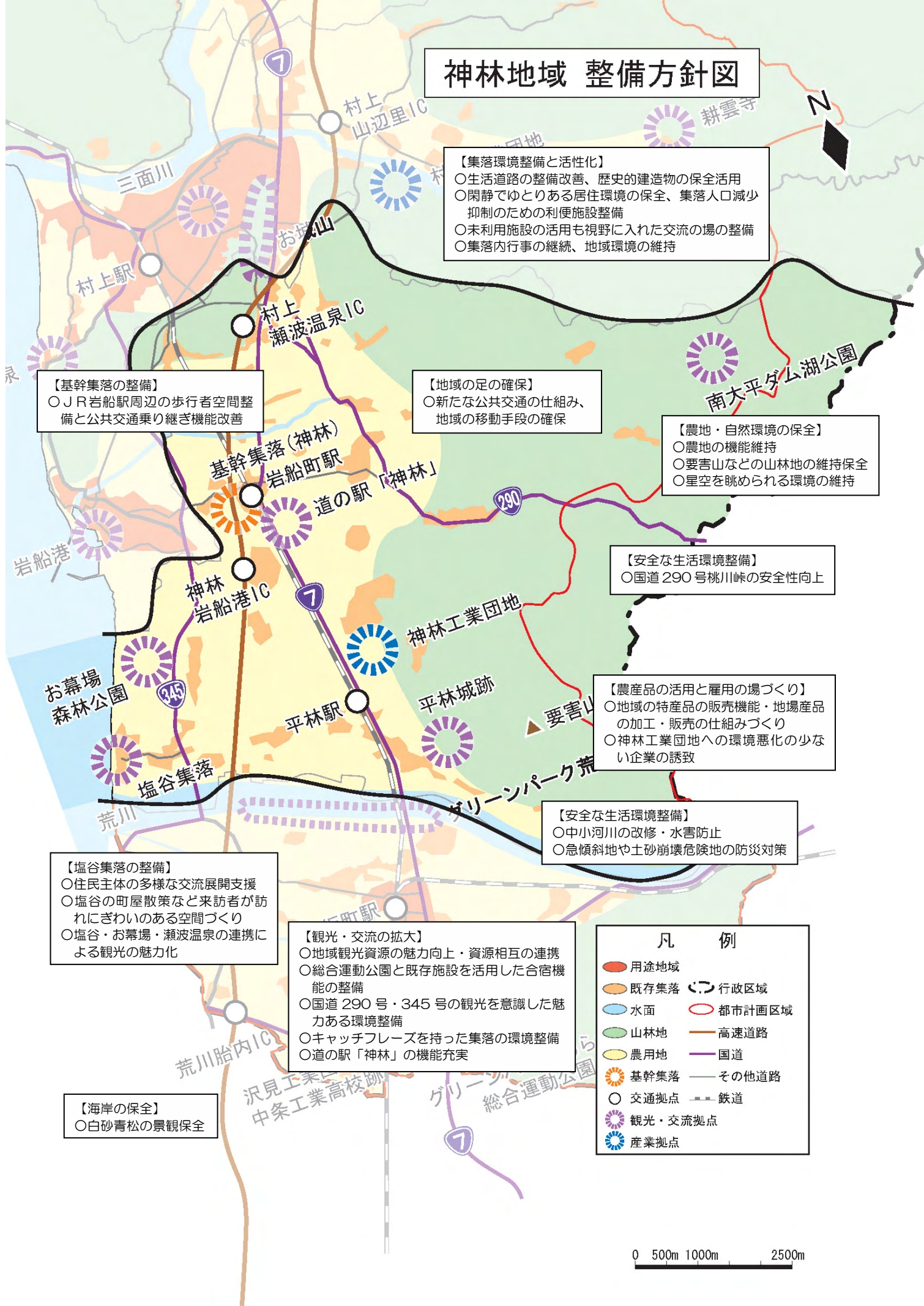
【安全に暮らすための環境整備】

国道 290 号桃川峠付近は、冬季は路面が凍結することもあるため、安全性向上のための整備を目指します。

石川、百川、笛吹川など地域内を流れる中小河川の改修を関係機関に働きかけ、大雨時の水害防止を目指します。

地域内の急傾斜地や土砂崩壊危険地区などの危険地区の防災対策や海岸浸食対策の実施を目指します。

神林地域 整備方針図



【集落環境整備と活性化】
 ○生活道路の整備改善、歴史的建造物の保全活用
 ○閑静でゆとりある居住環境の保全、集落人口減少抑制のための利便施設整備
 ○未利用施設の活用も視野に入れた交流の場の整備
 ○集落内行事の継続、地域環境の維持

【基幹集落の整備】
 ○JR岩船駅周辺の歩行者空間整備と公共交通乗り継ぎ機能改善

【地域の足の確保】
 ○新たな公共交通の仕組み、地域の移動手段の確保

【農地・自然環境の保全】
 ○農地の機能維持
 ○要害山などの山林地の維持保全
 ○星空を眺められる環境の維持

【安全な生活環境整備】
 ○国道290号桃川峠の安全性向上

【農産品の活用と雇用の場づくり】
 ○地域の特産品の販売機能・地場産品の加工・販売の仕組みづくり
 ○神林工業団地への環境悪化の少ない企業の誘致

【安全な生活環境整備】
 ○中小河川の改修・水害防止
 ○急傾斜地や土砂崩壊危険地の防災対策

【塩谷集落の整備】
 ○住民主体の多様な交流展開支援
 ○塩谷の町屋散策など来訪者が訪れにぎわいのある空間づくり
 ○塩谷・お幕場・瀬波温泉の連携による観光の魅力化

【観光・交流の拡大】
 ○地域観光資源の魅力向上・資源相互の連携
 ○総合運動公園と既存施設を活用した合宿機能の整備
 ○国道290号・345号の観光を意識した魅力ある環境整備
 ○キャッチフレーズを持った集落の環境整備
 ○道の駅「神林」の機能充実

【海岸の保全】
 ○白砂青松の景観保全

凡 例

用途地域	行政区域
既存集落	都市計画区域
水面	高速道路
山林地	国道
農用地	その他道路
基幹集落	交通拠点
観光・交流拠点	鉄道
産業拠点	

